

(四国地方整備局からのメッセージ)

◆◆◆四国地方整備局トピック 2015. 9. 10◆◆◆

着任にあたって

7月31日付けで次長を拝命しました菅沼です。

四国には平成16年～18年に高知港湾・空港整備事務所長で赴任した経験があり、関係の皆様には大変お世話になりました。今回の赴任にあたり改めましてよろしくお願ひします。

前回の赴任当時、平成16年10月の台風では高知県の菜生海岸において高波浸水で住民の方が亡くなり、同じ年の8月には高松も高潮で大きな被害を受けて福岡町庁舎までもが浸水しましたので、とにかく四国は自然条件が厳しいという実感があります。

一方で、高知県などでは住民の皆さんの防災への地域の取り組みが地域の人のネットワークを築くチャンスでもあるという認識のもと、むしろこれを地域づくりに活かそうという機運が感じられました。また、みなとオアシスなどの取り組みを通じて、地域の交流が盛んなこと、自給率100パーセントの石灰石など天然資源や製紙産業など地域特性を活かした地場産業の発達など、四国地域の活力もまた当時から強く感じていたところでした。

とはいえ、今回の赴任に当たり、当時よりさらに人口減少が進んだ地域も増え、この間リーマンショック、東日本大震災の発生、南海トラフ巨大地震の発生予想等、社会経済環境の悪化の中での企業の競争力の確保や予想される巨大地震・津波への備えなど、四国地域の課題は山積みであることを改めて思い知らされています。

南海トラフ広域災害への対応ひとつにしても、そもそも四国だけで対応できるものではなく、国のあらゆる行政機関が組織ネットワークをあげて対応・支援を考えていかなければなりません。地方整備局が率先してその任に当たらなければならないと思います。

インフラのストック効果と言われておりますが、地域の企業の皆さん、住民の皆さんに、こうした諸課題への対応対策が進んだということが実感として伝わらなければ、説明の理解が得られないものと思います。

私としましても、ひとつひとつの課題に対して、微力ながら四国地域の皆様のお役に立てるよう努力して参りますので、関係の皆様のご支援方よろしくお願い申し上げます。

四国地方整備局次長
菅沼 史典

■国土交通行政関係功労者表彰式について

【総務部 人事課】

7月30日(木) サポート合同庁舎において、国土交通行政関係功労者表彰式を執り行いました。

式典は13時30分より行われ、最初に四国地方整備局長から、災害、河川、道路関係の功労者に対し感謝状が贈呈されました。

続いて、優良工事、優秀貢献工事、安全工事、優秀建設技術者(工事)、優良業務、優秀貢献業務、優秀建設技術者(業務)の方々に対して表彰状が授与されました。

その後、四国地方整備局長から各部門の受賞者の功績に敬意を表するとともに、引き続き国土交通行政の推進に関してご支援、ご協力を求める挨拶がありました。

また、受賞者を代表して株式会社ヒカリ様より表彰に対するお礼の挨拶があり、表彰式は滞りなく終了しました。

受賞された個人・団体については、以下のURLからご覧になれます。
<http://www.skr.mlit.go.jp/pres/h27backnum/soumu/150727/150727-1.pdf>

■ 1日事務所長体験レポート
～水の作文コンクール「内閣総理大臣賞（最優秀賞）」受賞者が体験～

【松山河川国道事務所】

次世代を担う中学生を対象に、水について理解を深め、考える機会を持つために「全日本中学生水の作文コンクール」が毎年実施されていますが、このたび応募総数16,432編の中から、最優秀賞の「内閣総理大臣賞」を、松山市立椿中学校3年生の天野加奈子さんが受賞されました。

今回の受賞を受け、当事務所において、8月24日に1日事務所長を体験していただいた内容を紹介します。

当日は、お母さんも一緒に同行していただき、1日事務所長体験を見守っていただきました。まずは防災服に着替えていただき、職員一同の前で1日事務所長の任命式を執り行い、1日事務所長の襟を掛けて記念撮影を行いました。

その後4階の災害対策室へと移動し、本局及び各事務所間で行われるテレビ会議の体験として、実際の映像や音声確認を行っていただきました。また河川に設置しているCCTV装置の監視制御を体験していただきました。続いて事務所の地下に行き、庁舎を支えている免震構造の巡視を行い、免震装置のゴムや、揺れても支障にならない配管やパイプの構造を確認していただきました。

事務所からは河川のパトロールカーに乗車し、自然再生事業を実施している重信川の松原泉を巡視しました。現地では事業説明を聞いていただいた後、水生生物の確認などを行いました。泉には小さな魚が確認でき、昭和30年以前の泉の風景を取り戻す事業について、とても興味深く関心を持って説明を聞かれました。

最後に石手川ダム管理支所へ行き、ダム操作室でダムの概要説明を受けた後、ダム操作の疑似体験を行いました。続いてダム本体の点検作業を行うため、監査路を通ってダムが一番下まで行き、ホロージェットバルブから放流される状況の確認を行いました。その後、巡視船に乗り込み、ダム湖内の点検体験を実施しました。少し小雨が降る中ではありましたが、湖上からダムを確認したり、湖の浮遊物などの確認を行ったりと、巡視作業を実施しました。

事務所に戻って、1日事務所長を体験して一番印象に残ったことを伺ったところ、事務所庁舎の設備については、災害時に対応するいろいろな設計がなされていること、現場の巡視では、石手川ダム管理支所での体験を、特に印象に残ったことと話されました。また「これまでは身近にある川のことしか知らなかったけど、それまで知らなかったダムの施設に関することを知ることができて勉強になりました。」と話され、事務所長体験にて水への理解をより深められたことと思います。

天野事務所長、1日お疲れさまでした。

■平成27年度 四国企業防災戦略トップセミナー
大規模災害からの復興と地域再生
～犠牲者ゼロを目指す取り組み～

【企画部 防災課】

開催日時：平成27年8月3日（月）14：30～17：15

場 所：サンポートホール高松 第1小ホール

出席者：企業関係者 66社 109名

主催：経済産業省 四国経済産業局
国土交通省 四国地方整備局

目的等：四国には、本社や工場を四国に持ち、海外や国内の特定分野においてトップシェアや世界レベルの特殊な技術を持つ企業が100社を超えるなど、全国に誇れるオンリーワン企業が多く存在します。一方で、それら企業が、南海トラフ地震などの大規模災害により被災した場合には、四国はもとより日本経済・世界経済へ多大な影響を及ぼすことが懸念されます。四国企業防災戦略トップセミナーは、東日本大震災により大きな被害を受けながらも、早期に立ち直った企業よりご講演頂き、企業の大規模災害への備えを充実していくことを目的に、平成26年度より開催しており、今回、2回目の開催です。今回、「太平洋セメント（株）」と「（株）白謙蒲鉾店」の2社よりご講演頂きました。

講演概要1：日本の基盤を支えるセメント産業の底力

太平洋セメント（株）

（前）大船渡工場 工場長 （現）大分工場 工場長 小池 敦裕 氏

東日本大震災では津波による被害を受けましたが、「津波避難訓練の継続実施」と「行動規定の策定」により、工場や協力会社の従業員が怪我をすることなく、全員が指定避難場所へ避難することができたため、復旧・復興に早く取り組むことができました。

災害復興の初動である「災害廃棄物処理の分別、収集、運搬、処理」を具体的に確認していくことが重要であり、岩手県並びに大船渡市は被災後の3月22日に地元企業を招集し、災害廃棄物の初会合を開催しました。自治体、電力会社、地元の方々のご協力、ご理解のおかげで早期復旧ができ、2011年6月から災害廃棄物の焼却処理を開始し、2013年度末までに計画を上回る97万t（岩手県全体の17%）の災害廃棄物を受け入れました。

また、工場敷地内に除塩システムを建設して災害廃棄物のセメント資源化を実現し、復興資材であるセメントの安定供給により被災地の復興を支えました。

意見交換会：Q. 被災後、長期間に亘る対応の中で、従業員の健康面・メンタル面の対応はどのように行ったのでしょうか。

A. 看護師を臨時雇用し、相談できる部屋をつくり従業員のフォローを行いました。また、本社から月に1回来場して従業員のメンタル確認を行い、組織全体でもバックアップしました。

Q. キーマン不在のときの対応、留意点を教えていただけませんか。

A. 被災後の帰宅はキーマンを指名し5人1組で帰るよう指示し、復旧作業もキーマンを指名して、班分けを行いました。水、トイレ、簡単な食料は絶対必要と思いますので、安全作業責任者を決めて常日頃から考えておくと思いいます。

Q. 訓練の内容、頻度、被災後の見直し点を教えてください。

A. 1年で5回程度様々な訓練を行っていますが、管理体制は統一することが必要だと思います。被災から時間が経っても、事業者の長としては、風化を許してはならないと思います。

講演概要2：（株）白謙蒲鉾店の復旧・復興の取り組み

（株）白謙蒲鉾店 常務取締役 総合財務管理本部長 白出 雄太 氏

東日本大震災被災後、事業再開のため複数の地元建設会社に瓦礫・ヘドロ除去を早期に行っていただき、白謙会（取引業者会）の協力を得て被災翌月の2011年4月17日に本店地区での製造・営業を再開することができました。

東日本大震災の経験を踏まえ、「人命第一優先の事業継続活動」として、若手を中心とした「活動体制の明確化」「防災・危機管理マニュアルの策定」「人材育成活動」等の活動を行い、2014年2月にはISO、BCP勉強会、工場見学の受け入れ等の普及活動を行っています。

また、地震津波以外の自然災害や自然災害以外のリスクに対しても訓練を実施しております。

- 意見交換会：Q. 早期に建設業者に瓦礫・ヘドロ除去作業の協力が得られた大きな理由等がございましたらお聞かせいただきたい。
- A. 我々の会社は3月中旬から復旧を決めて早期に建設業者をpushし、復旧することをすぐに決めることが大事だと思います。
- Q. BCPの中で組織している体制が機能できない状況で一社員がどう判断基準で対応していくか方針等お伝えしていただければ教えてください。
- A. 津波警報以上出た場合は、とにかく逃げる、復旧活動をしなくていい、人命を一番最初に守るということだけは全スタッフに言っております。それが一番大事なことです。
- Q. 被災後の原料である魚の調達はどのように対応されたか教えてください。
- A. 原料の調達先は1社に絞らず、商社と連携して原料の分散をしていたので、原料面では全く困らない状況でした。

本セミナーでは、それぞれの基調講演で活発な意見交換が行われ、防災・減災対策への意識の高さを実感したセミナーとなりました。ご多忙の中ご講演いただきました太平洋セメント(株)の小池氏、(株)白謙蒲鉾店の白出氏、ご参加いただいたみなさまに大変感謝いたします。

■「四国版インフラのストック効果」パネル展を合庁ギャラリーで常設展示

【企画部 企画課】

管内技術・業務研究発表会に合わせて7月下旬にアイプラザで展示した「四国版インフラのストック効果」パネル展を、8月1日から高松サンポート合同庁舎ギャラリーに移設し常設展示しています。四国地方整備局の選りすぐりの「ストック効果」を是非ご覧ください。

■土器川で水生生物調査を実施しました

【香川河川国道事務所 計画課】

7月の河川愛護月間行事の一環として、土器川流域の子どもたちや保護者などが参加し、丸亀大橋付近、高速道路橋付近、祓川橋付近の3箇所にて、水生生物調査を実施しました。

水生生物調査は川の底にある石をめくって、その石に付着している生物や隠れている生物を調べ、その生物の種類や数によって川のきれいさを判定します。

今年度の調査には3箇所延べ191名の方に参加いただき、初めて参加された方からは「土器川にこんなに生物がいるなんて知らなかった」などの感想が聞かれ、身近にありながらこれまであまり知らなかった土器川の一面を知っていただけたようでした。

結果は3箇所すべてで「きれいな水」と判定されました。これからもこれを維持し、より親しみの持てる土器川としていくためにも、今後もこの水生生物調査等を通じて、ゴミの投棄防止など「川を大切に作る気持ち」を育てていただけるよう様々な取り組みを行っていきたいと思います。

■「88クリーンウォーク四国」について

【道路部 道路管理課】

「88クリーンウォーク四国」は、四国の道路を歩きながら道路の清掃を行うボランティア活動です。平成15年から始まり今年で13年目です。ボランティア団体、沿道住民、企業の参加により毎年、8月8日の早朝に1時間程度「もっときれいに気持ちよく」の思いを込め道路清掃を行っています。

今年も、8月7日に各地で約5千名のボランティア参加者による道路の清掃が行われました。

【活動概要】

- 1 実施日
平成27年8月7日（金）早朝
- 2 活動コース
活動コースには、2つのコースがあります。
 - ・自由コース（近くの道路を自由に清掃）
 - ・にぎわいコース（近くを清掃しながら拾ったゴミを持って各地の集合場所に集合）

※各地の集合場所

徳島：阿波おどり会館前
香川：サンポート高松シンボルタワー棟西側通路
愛媛：松山中央公園・愛媛県武道館前
高知：高知城追手門前広場

■「みなとサマースクール2015」を開催

【小松島港湾・空港整備事務所】

平成27年8月1日（土）、マリニピア沖洲のマリンターミナルにおいて、徳島県、沖洲海浜楽しむ会及び当事務所の主催で、「みなとサマースクール2015」を開催しました。このイベントには小中学生とその保護者合わせて40名の方にご参加いただき、徳島小松島湾清港会所属の海面清掃船「ブルークリーン」の紹介、ちりめんじゃこを使用した「ワダジマモンスター探し」、港湾業務艇「しまかせ」による「みなと見学会」を実施いたしました。

「ブルークリーン」の紹介では、珍しい船の構造や活動内容（徳島小松島港、今切港の港湾区域内で浮遊ゴミの回収を行っている）についての説明や浮遊ゴミ回収のデモンストレーションを行い、その役割について参加者の皆様に知っていただきました。

次に、ワダジマモンスター探しについては、加工された「ちりめんじゃこ」の中からワダジマモンスターと名付けた小さな生き物（タコ、イカ、カニ、エビ、魚の幼生など）を探し出し、台紙に貼り付けてワダジマモンスターの図鑑を作成しました。作業中は大人、子供関係なく、多くの人が時間ぎりぎりまで、黙々とワダジマモンスター探しに集中していました。

また、みなと見学会では、徳島小松島港の沖洲地区から大神子海岸沖まで、普段なかなか見る機会のない海側からの港湾や海岸の見学と、津田防波堤の近くに停泊して水中カメラで、防波堤の根元に集まる魚やカニ、貝などの海生生物の観察を行いました。当日は運悪く海水が濁っていて視界は良くありませんでしたが、画面に魚などが写ると、子供たちの歓声があがっていました。

今後も、地域の方に港の役割や事務所所管事業について理解していただき、身近に感じてもらえるよう、引き続き関連したイベントを実施していきたいと考えています。

■小学生の鉄人レース
～奈半利町ちびっこトライアスロン～

【高知港湾・空港整備事務所】

平成27年8月2日（日）、高知県奈半利町のみなとオアシス奈半利において「第6回ちびっこトライアスロン」が開催され、県内外の小学生110人による白熱したレースが繰り広げられました。

本大会は全国でもめずらしく海岸施設を利用した小学生のトライアスロン大会となっています。小学生を2学年ごとに3つのクラスに分け、小学5年～6年のクラスでは水泳50m、自転車3km、マラソン2kmの距離となっています。開会式では主催のみなと未来会議会長、共催の奈半利町長、後援である四国地方整備局次長等の挨拶の後、賑やかに開始されました。猛暑のなか参加した小学生たちは、水泳、マラソン、自転車と元気いっぱい競い合い、その姿は、応援する方々をも元気にする力強さがあり、奈半利町が活気に満ちあふれた大会となりました。

トライアスロン終了後、出場した小学生たちは海で遊んだり、引き続き行われた宝
ページ(5)

探し大会に参加したりと、トライアスロンに出場した小学生たちは自然を満喫していました。宝探し大会の後にはスイカが配られ、3つ、4つとスイカを食べる姿が見られました。

みなとオアシス奈半利では、ちびっこトライアスロンの他にも、港まつりやシーカヤック、シュノーケリングなど、自然が体験できるイベントを実施しています。各イベントは奈半利町ホームページにて掲載しておりますので、チェックの上ご参加ください。

■国営讃岐まんのう公園「コスモスフェスタ」について

【香川河川国道事務所 公園課】

国営讃岐まんのう公園では、毎年恒例の『コスモスフェスタ』を9月12日（土）から11月3日（火・祝）まで開催します。期間中は、17品種70万株のコスモスのお花が園内に広がります。

9月中旬から10月上旬にかけては、北駐車場近くの「花巡りの丘」に、オレンジや黄色の“キバナコスモス”が見ごろを迎え、一面絨毯のように広がります。また、10月上旬から10月下旬にかけては、「ダブルクリック」や「キャンパスシリーズ（イエロー）」やピンク、赤、白の「センセーション」などが中央駐車場から近い「花竜の道」や「青竜の谷」にて、見ごろを迎え秋の風物詩としてお楽しみいただけます。期間中は、日祭日を中心に、コスモスにちなんだイベントを開催します。

10月11日（日）には満濃池やコスモスを見ながら楽しめる「満濃池湖畔ウォーク」を開催します。さらに翌週の10月18日（日）には、パワーショベルやパトカーなどが大集合する「はたらく車！フェスティバル2015」を開催します。

10月25日（日）は地元の伝統芸能披露やステージショーのほか、抽選会や特産物販売などが行われる「かりんまつり」や地元での文化活動を紹介する「まんのう町文化祭」を開催します。

その他、週末を中心に各種体験教室やハッピーハロウィーン、B級グルメ等、多くのイベントを行っております。

皆様、ぜひ、国営讃岐まんのう公園の『コスモスフェスタ』にご来園ください。お待ちしております。

※9月21日（月・祝）、10月4日（日）、10月25日（日）は、無料入園日です。

（9月21日は65歳以上の方のみ入園料が無料になります。また、各日とも駐車料金が別途必要となります。）

※季節の花情報や旬のイベント情報については、国営讃岐まんのう公園ホームページでご確認ください。（<http://www.mannoukouen.go.jp/>）

■松山空港「空の日フェスタ」が開催されます

【松山港湾・空港整備事務所】

2015年9月26日（土）、松山空港において「空の日」のイベント、「2015松山空港 空の日フェスタ」が開催されます。空港関係機関や企業等により、愛媛県の都市伝説を実現した「蛇口からポンジュース」を含む多数のイベントが企画されており、松山港湾・空港整備事務所からも松山空港の模型やパネルの展示、模型飛行機による風洞実験装置を第一会場に出展する予定としています。

この機会に、いつもは何気なく利用している空港をご家族やお友達とごゆっくり見学されてはいかがでしょうか。皆様のご来場をお待ちしています。

開催日：平成27年9月26日（土） 9：30～15：00
会場：松山空港ターミナルビル（第一会場）、松山空港事務所（第二会場）
主催：松山空港事務所内
松山空港空の日実行委員会 TEL089-972-0319

いきいき四国ー9月配信版.txt
空の日ネット : <http://www.soranohi.net/>

【主なイベント(予定)】

幼稚園の鼓隊演奏・演技披露、松山空港模型、パネル展示、風洞実験コーナー、ポン
ジューズ蛇口、親子航空教室、マーシャリング体験、チビッコ写真撮影会、空港で働く
車輛(GSE)、ラジコン、プラモデルの展示、空港内バスツアー、その他

四国地方整備局HP

<http://www.skr.mlit.go.jp/>

「いきいき四国通信」に関するご意見等がありましたら、下記メールアドレスまで
お寄せ下さい。

<mailto:skr-seibikyoku@mlit.go.jp>
《平成27年2月からメールアドレスが変わりました》

***** 「いきいき四国通信」事務局 *****
「いきいき四国通信」の配信中止・配信先変更のご希望がありましたら、事務局
までご連絡頂きますようお願い致します。

国土交通省 四国地方整備局 企画部
【担当】石井(内3126)、仙波(内3176)
〒760-8554 高松市サンポート3番33号
電話(087)851-8061/FAX(087)811-8408
<mailto:skr-seibikyoku@mlit.go.jp>
《平成27年2月からメールアドレスが変わりました》